英語技能別演習（発信型）

Productive Skills — Orientation

志柿 浩一郎
Koichiro Shigaki

2026年度 秋学期　月曜3限

今日の90分

話を聞くだけの回ではありません。最後は声を出して終わります

- 0〜10分　この授業は何をするところか
- 10〜20分　教室のきまり
- 20〜45分　目的と評価、授業のすすめ方。**ここに時間をかけます**
- 45〜60分　先生の自己紹介。英語でやります
- 60〜75分　学習プラットフォームの入り方。画面でやってみせます

- 75〜90分　英語で挨拶して、自己紹介してみる。質問

この授業は何をするところか

英語で「出す」ほうの授業です

スピーキングとライティング。聞く・読むだけでなく、自分から話し、書く

柱は3つ

第1回｜オリエンテーション

- **基礎力**　学習法、語彙・文法、発音・イントネーション

- **スピーチ**　構成、準備（テーマ選定・原稿作成・リハーサル）、質疑応答
- **ライティング**　基礎に触れる。詳しい練習はAIアプリで授業外

受信ができなければ、意味のある発信はできない

だから、聞く・読むもやります

単なる知識の習得ではありません

実際に英語で自分の考えを表現して、やり取りできる力を養います

教室のきまり

持ち物と出席

第1回｜オリエンテーション

- PCかタブレット。毎回必要です。スマホだけでは足りません

- イヤホン
- 点呼に返事をします。点呼のあとに来たら、自分から申し出ます

- 名前を覚えるまでは点呼でやります。評価のためというより、名前を覚えるためです

席と遅刻

第1回｜オリエンテーション

- 席は第1回か第2回に決めます
- 遅刻2回で欠席1回。理由なく20分を超えた遅刻は欠席扱い

- 無断での入退室はしないでください。体調が悪いときなどは、教員に伝えてから出てください

授業中の過ごし方

第1回｜オリエンテーション

- 授業と関係のないことをしているのが見えたら、欠席とみなします。事前に忠告はしません
- **英語での雑談は練習になります。だから可です。**先生も会話に入ります
- 日本語で雑談していたら、絡みに行きます

間違えて構いません

第1回｜オリエンテーション

- わからなかったら、わからないと英語で言う。日本語で言ってくれないか、も英語で聞く
- **語学は使うことで上達します**。授業内での発言や質問は重要な練習機会です
- 完璧な英語を話す必要はありません。最初からできているなら、この授業は履修しなくていい
- 授業内で英語が変であっても、減点することはありません

目的と評価

シラバスに書いた到達目標

第1回｜オリエンテーション

- 発信に必要な語彙、文法、発音、イントネーションの基礎力を強化する
- 英語学習法を習得し、自律的な学習ができるようになる
- スピーチ、プレゼン、ライティング、ディスカッションなど多様な発信形式に対応できる
- 論理的思考力、構成力、表現力を高め、効果的な発信ができるようになる

シラバスに書いた到達目標（続き）

第1回｜オリエンテーション

- 実生活や社会で必要とされる発信能力を高める
- 異文化理解を深める努力をし、適切に発信できる能力を養う
- 英語での発信を通して、自信と自己肯定感を高める
- 積極的に自己表現することで、物おじしない姿勢を身につける
- AIアプリを含むツールを活用し、自律的に学習を継続できる生涯学習者となる

赤い2つは、点数では測りません

多くの語学科目には書かれない目標です。学期3回の自己評価で、変化だけを記録します

色々と書きましたが

ここまでいければいい、というやつ

- **将来の武器として英語を捉える**
- 自信をつける。「英語できないんでー」みたいなことを言わなくていいようにする
- 学習方法を学ぶ。独学で訓練できるようにする
- メタ認知能力を上げる。自分の今の能力を理解して、それを上げる

「英語は教養科目の単位とるためなんでー、お手柔らかに」から脱却する

単位を取りたいなら、きちんと訓練していってください

何で成績をつけるか

第1回｜オリエンテーション

項目	割合
授業内活動への参加と貢献度	30%
授業内課題（第4〜12回）	25%
学習ポートフォリオと授業外課題	30%
その他	15%

- 詳しい基準は授業サイトの「成績評価」に全部出しています

スピーチや音読は、できたか、できていないかで見ます

穴埋めテストでは測りにくい。反応とパフォーマンスを見る必要がある

見る項目は、ずっとこの6つです

- チャンキングの正確さ
- 英語らしさ（リズム、イントネーション、ポーズ、ストレス）。ネイティブ風に、ではありません
- 流暢さ（スピード、必要なところでのポーズ）
- 全体的な内容伝達
- 聞いた音の再現度（ものまね）
- おまけ：読んだときのエネルギー、姿勢（割合は大きくない）

最初のころと最後をくらべて、その差も加点します

学期のはじめと終わりで、同じことをやってもらいます

出席点は「座っているかどうか」ではありません

クラスへの貢献度、積極度。自ら動いているかどうか

学習記録と課題の数は、やったか、やっていないか

- 普通に訓練と授業内外の課題をしていれば可になります。楽単だと思ってもらっていい。ただし出すものを出せばの話です
- 何もしなければ落単になるし、怠ければその分だけ能力の上がりは鈍くなる

なまけ、なにもしない ＝ そこは自己責任 ＝ 不可につながる

単位のためでも構わんが

結果なんもスキル身に付かなかったら、人生における時間の無駄

提出と期限

締切の日付は、授業サイトに全部出ています

- 提出先は学習プラットフォーム。メールでの提出は受け取りません
- 締切はすべて日曜23時59分。過ぎても出せます。締め出しません
- ただし採点の満点が下がります。月曜まで75点、火曜まで50点、それ以降25点満点
- **「75点あげます」ではなく「75点満点で採点します」**。中身が8割なら60点です
- 不具合で出せないときは、その場で連絡してください。こちらの責任なので不利益は生じません

先生の自己紹介

どれくらい聞き取れましたか

質問に、学習プラットフォームで答えてください。第2回の前日まで。自己紹介の録音とセットで、いまの「聞く」と「話す」を見ます

学習プラットフォーム

入り方

gengodojo.app

- Google でログイン
- 配られたリンクかコードで、自分のクラスに入る
- ホームの「授業の課題（必須）」に、課題が並びます

課題の出し方

画面でやってみせます

- 見本を聞く → 録音する → 評価が出る。何回でもやり直せます
- 決められた回数を練習すると、提出できます。いちばん良い回が選ばれます
- 提出すると「✓ 提出完了」に変わります

ここに残るもの

第1回｜オリエンテーション

この授業の課題

毎週の課題はここから出す。提出の記録も残る。

先生からのFB

先生のコメントはここで読む。

ポートフォリオ

授業外で英語に触れたことを、自分で1つずつ書く。成績の30%はここと課題の記録。

自動の評価

録音には、その場で自動の評価とアドバイスが返る。推移も見られる。

AIの使い方で、これだけは

- AIの文章を、そのまま自分の答案にしません。直す前の自分の文も残します
- AIに読ませた音声を、自分の録音として提出してはいけません
- 使った助言と、直したところを記録します

声を出して終わります

英語で挨拶して、名前を言う

まず先生がやります。そのあと、隣の人と

- Hi, I'm ... / Nice to meet you.
- Where are you from? / What's your major?
- 止まったら　Sorry, could you say that again?

次回までの課題

締切は11月1日（日）23時59分

- 学習プラットフォームで、**自己紹介を30秒**録音して出す
- 日本語で考える → 英語にする（AIに直してもらってよい。直す前の自分の文も残す）→ 見本の音を聞いて真似る → 自分の声で録音
- AIからフィードバックが返ってきます。出せば加点します。遅れたら加点は半分
- いまの話す力を見るためのものでもあります。今日の聞き取りとセットです

授業外でやってほしいこと

- 英語に接する時間を増やす。ここばかりは本人の努力を求めるしかない
- 短いドラマを見る（YouTube、Netflix、Amazon Prime）
- 自分の興味に近いテーマを決めて、それを使って英語能力を上げる

- たくさん読む、たくさん見る、たくさん聞く。出すほうは、間違えまくって覚えるのに慣れる

質問と連絡

- 履修や事務手続きのことは、大学メールから kshigaki@imc.hokudai.ac.jp へ
- 英語の授業のことは、学習プラットフォームの質問箱から
- 研究室は S410。授業のあとでも聞いてください

Questions?

授業のこと、学部のこと、大学のこと、先生のこと、何でも